

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.21

1986(昭和61)4月、高坂駅西口の開設に伴い現在の高坂駅舎が完成しました。新駅舎は三角屋根の時計台が設置されるなど、近代的なデザインが取り入れられています。この頃高坂駅西口では土地区画整理事業が行われており、これからのまちづくりを見つめるようにと、駅前広場には高田博厚の彫刻作品「遠望」と「大地」が設置されました。その後8年の歳月をかけ完成したのが32体の彫刻が並ぶ高坂彫刻プロムナードです。

1986(昭和61)年に若い世代のまちづくりにあった景観として第1回さいたま建築景観賞を受賞したよ。



1999(平成11)年には関東の駅百選にも選定されたことがあるんだ。

新しい高坂駅舎と 高坂彫刻プロムナード 1986(昭和61)年



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画『漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ』のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



しがほつやま キッズ集合!

おしえて『文化財』 倶利伽羅不動尊

上野本の不動沼ほとりに小さなお堂があり、中に倶利伽羅不動尊が祀られています。

倶利伽羅とは不動明王の化身である龍のことで、彩色が施された石像は、戦う相手が変化した剣を、炎に包まれた黒龍が剣先から呑み込もうとする鬼気迫った姿が表されています。銘が刻まれていないため、製作年代はわかりませんが、江戸時代頃に造られたものと考えられています。

また、お堂脇には「たき」と呼ばれる清水が湧き出ているところがあり、日照りで困ったときに石像を入れて祈願すれば、雨が降ると伝えられていました。

付近に広がる野本地区の田畑は江戸時代に開発されており、倶利伽羅不動尊は農事に関わる水の守り神として信仰され、今も昔も大切にされています。



お堂



倶利伽羅不動尊

問
埋蔵文化財センター
27-1-0333
FAX 27-1-0334